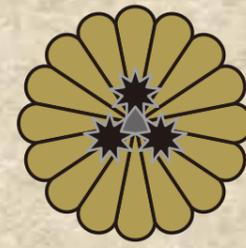


道心

山川草木みなほとけ



天台宗祖師先徳鑽仰大法会

此歳吾妻に下るにぞ
道の艱難憐みて
廣濟廣拯置きにけり
諏訪の明神託しては
経馱す馬をぞ護りける
美濃の賢栄誓いては
多寶佛塔建てられき
伝教大師和讃

廣濟院再興堂宇建立勸募事務局

〒395-0001 長野県飯田市座光寺2638
座光如来寺内 TEL 0265-23-2525
郵便振替口座 廣濟院再興堂宇建立勸募事務局
00110-5 605097

宗祖伝教大師二千二百年大遠忌報恩事業

宗祖伝教大師御遺跡 廣濟院再興堂宇建立



一千二百年前、宗祖伝教大師最澄は
東国巡錫の砌り、東山道の難所神坂峠の両坂に
廣濟、廣拯の布施屋宿泊所を建てられました。
祖師先徳鑽仰大法会の勝縁の今、
信越教区と三岐教区は、祖師の御遺徳を
将来にわたって顕彰するため、大遠忌報恩事業として
廣濟院再興堂宇建立を發願いたしました。
全国天台宗ご寺院のご支援ご助力を懇請申し上げます。



宗祖伝教大師遺跡顕彰会
信越教区 三岐教区

後援 天台宗 比叡山延暦寺 全国宗務所長会 天台宗宗議会議員

全国天台宗寺院勸募事業趣意書

平成二十四年四月から始まった天台宗祖師先徳鑽仰大法会も、令和三年六月四日、伝教大師一千二百年大遠忌祥当法要を迎えました。

昭和三十三年広済院跡に顕彰碑が建立されました。信越教区と三岐教区は毎年十一月二十三日に総本山延暦寺執行を御導師に仰ぎ、宗務総長御臨席の元、両教区役職員、信越教区伊那部当番寺院、岐阜県中津川市神坂霧ヶ原地区の協力を得て六十四回の顕彰法要を務めてまいりました。

平成二十一年、天台宗は、開宗一千二百年慶讃大法会予算から広済院顕彰碑周辺の土地を購入いたしました。令和二年九月、天台宗所有の土地に堂宇建立の宗務総長の認可がなされ、大遠忌報恩事業となりました。

コロナウイルス感染症の影響下で大法会事業の自粛延期が続く中、天台宗徒は力を合わせ宗祖伝教大師のご遺徳を多くの方々々に知っていただき、社会にしっかりと根付かせなければなりません。

「目から消えてゆくものは心からも消えてゆく」
「心に念ずることはかたちとなって顕われる」

堂宇建立後の広済院は、東山道神坂峠行脚体験修行、在家と出家が語り合う中で社会に心えられる僧侶、人材育成の寺をめざします。

全国天台寺院に篤志寄付の浄財寄進を懇請申し上げます、広済院再興堂宇建立を成し遂げたく存じます。

伝教大師の東国巡錫と広済院、広拯院



安田毅彦画：伝教大師伝「広済・広拯」

宗祖伝教大師最澄は弘仁八年（八一七年）法華一乗敷行の志で東国巡錫の旅に赴かれました。御年五十歳の頃です。東国へ向かう唯一の官道であった東山道神坂峠は旅程の最難所でありました。大師は美濃坂に広済院、信濃坂に広拯院の布施屋を建てられました。日本社会事業の原初といわれます。

大師東征の日、信濃坂を越ゆ。その坂は数十里なり。雲を躡み漢に跨がり、霧を排いて錫を策くに、馬は躡き風を喰い、人は吟きて気を吐く。なお一日の行程に能わず。ただ半山に宿して纒かして聚落に達す。大師は、この坂の艱難にして往還に宿なきを見て、誓いて広済・広拯の両院を置く。陟黜に便あらしめ、公私に損することなからしむ。美濃の境内を広済と名づけ、信濃の境内を広拯と名づくるなり。東土の事りて踵を施らし都に向かう。（叡山大師伝「伝全五附三十二頁」）

昭和三年の現地踏査

弘仁八年の東国巡錫の旅から一千百年余が経過した昭和三年水尾寂暁師、渋谷慈鑑師、清田寂栄師、逸木盛照師が、昭和四年梅田円鈔師と学生六名が両院の遺跡を確定するため現地踏査を行いました。これは、昭和十二年の比叡山延暦寺開創一千五十年大法会を十年後に控え、開創記念事務局が記念事業として両院に遺跡碑を建立することが決議されたことによる調査でした。岐阜県側から東山道に入った一行は桧笠に草履を履き、豪雨の中を出発し標高一五七六メートルの神坂峠を越えました。

昭和三十三年顕彰碑建立

昭和三十三年、比叡山専修院の逸木盛照師、藤支哲道師、三浦義薫師と信越教区役員、郷土史家の合同調査により、東山道沿いの神坂霧ヶ原地区を広済院跡と確定しました。

昭和三十三年、伝教大師立教開宗一千五十年の記念大法会を機として、善光寺大勸進住職東伏見慈治師の揮毫から成る広済院遺跡顕彰碑を建立しました。神原玄祐宗務総長、山田恵諦延暦寺執行御臨席の元、第一回目の顕彰法要が厳修されました。爾来、顕彰法要は毎年欠かすことなく、六十四回を数え今日に至っています。

◆伝教大師も越えた東山道最大の難所、恵那山系神坂峠(1576m)から西方を望む。眼下につづら折れの道が見える

宗祖伝教大師東国巡錫一千二百年 広濟院御遺跡顕彰碑建碑六十周年記念法要



渋谷慈鑑師一行の広濟院現地調査(昭和3年7月20日)



『伊那』昭和34年2月号。
広濟院顕彰碑落成式の詳細記事掲載



広濟院顕彰碑前にて、延暦寺仏教青年会 神坂峠行脚(昭和46年11月12日)



巡錫の道を行脚する群馬仏青。浄法寺まで230km(平成29年)

平成二十九年十一月二十五日、「宗祖伝教大師東国巡錫一千二百年、広濟院御遺跡顕彰碑建碑六十周年記念法要」が、小堀光實延暦寺執行を御導師に仰ぎ、杜多道雄宗務総長御臨席の元、三岐教区、群馬教区、信越教区諸大徳が列席し、宗祖伝教大師最澄がめざされた御誓願、御遺徳の実現を宝前に誓いました。

抑々最澄伝教大師東国巡化一千二百年追憶顕彰法会の砌
(中略)

方に今 大日本国美濃信濃の境岐阜卓県中津川市神坂霧ヶ原我が祖最澄大師巡化の砌り 草庵結五「廣濟院」御遺跡顕彰の浄域に天台宗役職代表、三岐、信濃、群馬の寺院代表、又縁の地代々守護の故島崎長八家当主島崎晃氏並に地元関係者随喜参列し大師東山道往來東国巡化の往時を偲びつつ顕彰例祭還暦六十年の慶節を迎えて散華妙経誦法楽を勤仕奉る事あり 其の旨趣如何となれば夫れ 目下我が天台宗に在りては祖師先徳鑽仰大法会奉修の最中 円仁、相応、恵心和尚先徳方の御遠忌に重ねて伝教大師一千二百年大遠忌御祥当を平成三十三年(西暦二〇二二)年六月に迎えんとして大いに祖師の御心に寄り添いて浄業の遺跡を辿らんとす 熟ら惟るに最澄大師陰徳の志深く大願を発し叡岳を下り近江、美濃、信濃、上州諸国巡錫化に旅なされど弘仁八年東山道神坂峠の難所に当たりて忘己利他、乃ち己の苦しみは他人も同様、寧ろ他に此の労を癒さんと廣濟廣拯の名を遺し、山越旅人の往來に廻施願発す 顧みるに昭和十二年比叡山開創一千百五十年の嘉辰を迎えるに一宗信越教区は大師遺跡を探らんと昭和三年時の善光寺大勸進水尾寂暁、渋谷慈鑑、岡山本山寺清田寂栄、比叡山専修院逸木盛照の四方、更には専修院教授梅田円鈔師と学生の先賢方により茲霧ヶ原地東山道実踏調査に与す 然れども廣濟院に因む資料所在実証に乏しきをみて調査事業は停滞余儀なきを見たり 茲を以て再再その念強く愈々三十年後の昭和三十三年、時の信越教区本多賢胤宗務所長、郷土史研究者市村成人、宮下操の三方と逸木盛照、藤支哲道、三浦義薫の専修院教授方ほか先人の執念調査を以て廣濟院御遺跡を定め顕彰碑建碑の暁を見る 法悦記念の期日昭和三十三年十一月二十五日たり 此の故に宗祖根本伝教大師御徳を仰ぎ東国巡化廣濟院顕彰碑建碑に關われし先師先賢の意欲と労に敬意深謝して後の法会執行と護持継続を誓願せん 仰ぎ願わくは満山三宝恒沙の諸尊加持護念を垂れて忘己利他、照千一隅、令法久住の祖意を永世に眷顧し顕彰碑設置の功徳を永代に増長して有縁檀信の家運を万劫に冥加あらせ給え

観れば夫れ

紅葉満山を錦鮮やかに染めて景光冬の装いを誘う

春夏秋冬是の地の移ろい遮那の真相示して般若の妙智を伝う

所願旨深く 啓白詞拙し

三宝証知し諸天洞鑑し給え 丁

光實 茲

信越教区、三岐教区は、平成二十九年九月、遺跡顕彰碑周辺土地を所有する天台宗に、広濟院再興堂宇建立の請願書を提出しました。杜多内局による現地視察を経て、令和二年十月、堂宇建立の土地使用貸借の契約覚書が結ばれました。大法会予算助成金、全国天台宗寺院篤志寄付金、クラウドファンディング寄付金を建設資金とし、宗祖伝教大師一千二百年大遠忌報恩事業として広濟院再興堂宇建立事業がスタートします。



顕彰碑前にて 群馬・三岐・信越教区 合同出仕



導師小堀延暦寺執行(当時)



法要終了後の餅投げ



霧ヶ原地区のみなさま

事業概要

事業名 宗祖大師遺跡広済院再興堂宇建立事業
 事業者 宗祖伝教大師遺跡顕彰会、信越教区、三岐教区
 所在地 岐阜県中津川市神坂霧ヶ原
 建造物 広済院
 事業運営 信越教区、三岐教区
 事業費は天台宗大法会予算・寄付金を充て、設計監理は信越教区が当たる
 総事業費 5,000万円(概算)

【建立資金勧募計画】 5,000万円(目標)

1 勧募内容

- ①全国天台寺院篤志寄付金 3,500万円
 郵便振替口座 広済院再興堂宇建立勧募事務局 00110-5 605097
- ②クラウドファンディング及び個人寄付金 300万円
 インターネットサイトで再興新広済院の趣旨を発表する(7月開設予定)。
 賛同協力を得た一般の方とご縁を建立後の宗教活動に活用する。
- ③大法会予算助成金 500万円
- ④信越教区・三岐教区 700万円

2 勧募期間 令和4年4月~令和5年3月

3 勧募事務局

- 信越教区 長野県下伊那郡阿智村駒場 569番地 長岳寺内
 信越教区宗務所長 入 亮純
 ☎ 0265-49-3391 e-mail tendai.shinetsu@sky.plala.or.jp
- 三岐教区 三重県伊賀市長田 2378番地 常住寺内
 三岐教区宗務所長 森 喜良
 ☎ 0592-23-1594
- 建立勧募事務局 長野県飯田市座光寺 2638番地 座光如来寺内
 会計 本多 秀道
 ☎ 0265-23-2525

後援 天台宗 比叡山延暦寺 全国宗務所長会 天台宗宗議会議員

「広くすくう」と名付けて広済院、「広くひろう」と名付けて広拯院、宗祖伝教大師最澄様が一千二百年前に示された他者を思いやる慈愛の心を現代に引き継ぐために、堂宇再建を願いました。

宗祖大師の御遺徳を偲ばれた先人らの真摯な歩みに思いを馳せ、このたび広済院再興堂宇建立の勧募事業をスタートさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症の影響下にあっても、祖師先徳鑽仰大法会事業の精神を継続していかねばなりません。全国天台宗寺院篤志寄付をお願い申し上げます。今を生きる私たちの力を結集して、将来に亘り宗祖伝教大師最澄様の御精神を實踐していきたく存じます。



二千二百年の時を越えて再興 広済院

広済院の敷地は、恵那山を背に北西に視界が広がる傾斜地にある。地元霧ヶ原地区の集会所、その上手に顕彰碑の玉垣、その上に善光寺如来堂が並ぶ。北側道路から駐車場を経て、階段を上がり広済院へ向かう。新広済院は、外観はゆったりとした大屋根、唐破風をモチーフにした優しい印象の玄關、床面積は約三十坪の木造平屋建てとなる。竣工の晩には、研修道場・布教道場とともに、霧ヶ原地区の集会所の役割を担い、災害の折には地域に貢献できる堂宇として活用して参ります。



- #### ■新広済院 交通のご案内
- 〈マイカー利用〉
 中央自動車道 神坂PA [ETC開設] … (10分) … 霧ヶ原
令和5年3月~
 - 〈高速バス利用〉
 名古屋駅 名鉄バスセンター (飯田・箕輪行) …
 … 神坂PA下車 … タクシー (10分) … 霧ヶ原
 - 〈電車利用〉
 JR中央本線 中津川駅 … タクシー (20分) … 霧ヶ原